

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年8月29日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102647		
法人名	株式会社 トゥルーケア		
事業所名	グループホーム メロン	ユニット名	1丁目
所在地	〒311-1113 茨城県水戸市平戸町舟渡380-1		
自己評価作成日	平成28年4月1日	評価結果 市町村受理日	平成28年9月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&JigyosyoCd=0870102647-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年5月17日	評価機関 決 済 日	平成28年8月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>GHメロンは、入居者様が「安心」「安全」に生活していただけるよう、サービスを提供させていただいております。</p> <p>昨年より、外部の方との交流や世代間交流を実施し、入居者様が楽しめる行事を定期的に行っております。（世代間交流は、幼児から高校生までの方との、交流を行っております。）</p> <p>ホーム内に、特浴があり、個人浴とは別に設置しております。体調面を考慮し、安心して入浴ができます。</p> <p>今後とも、職員一丸となり努めていきます。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は裏手に涸沼川が流れるのどかな場所にあり、毎日川沿いを散歩して近隣住民と挨拶を交すなど、利用者は穏やかに暮らしている。</p> <p>「一人ひとりの個性を尊重し」という理念のもと、利用者の特性を活かすケアを心がけながら、利用者本位の支援をしている。</p> <p>同一法人系列の事業所と合同で、多世代が参加する世代間交流を年4回実施し、昭和の食卓を囲んだり、わらじを作ったりして世代を超えて楽しんでいる。</p> <p>入浴を楽しむために、浴室に季節の花を飾って季節感を出すとともに、身体的に入浴が困難な利用者のために、機械浴を設置している。</p> <p>運営推進会議に近隣のグループホーム職員が参加しており、互いに協力関係を構っている。</p> <p>職員は入職時に防災委員会や衛生委員会など、各種委員会に所属して支援している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着の理念を作り、入居者様が安心して生活出来る環境作りをし、管理者の下職員一丸なり業務をおこなっています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を代表者と管理者、職員で作成し、各ユニットとスタッフルームに掲示している。 月1回の全体会議などで何度も検討し見直しをしているほか、新人研修でも説明をして共有を図り、全職員で実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアの方々に来荘して頂き、定期的に交流会を行っています。（大正琴・フラダンス等）	事業所は自治会に加入しており、年1回行う1月末の地域清掃には、利用者も一緒に参加している。 同一法人他事業所と合同で「昭和の風景」と題して昭和の食事やしつらえを懐かしんだり、わらじ作りなどで夢中になる利用者もいるなどの世代間交流を年4回実施し、地域住民や家族等さまざまな世代の参加を得ている。 近隣の高等特別支援学校の生徒が、年1回実習に来訪しているほか、大正琴や市職員によるいきいき講座、歌などのボランティアを3ヶ月に1回の頻度で受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々のボランティアの受け入れを行うとともに認知症の理解を深めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の運営推進会議の開催をする事により、皆様よりご意見・要望を受け、出来る限り応えられるように努めています。	運営推進会議は市職員や地域包括支援センター職員、民生委員、近隣のグループホームの職員、代表者、管理者、職員で2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所の取り組みや利用者の状況、行事の報告を行うとともに、課題などを話し合っており、市職員から虐待についての研修会の提案があり実施するなど、運営に反映している。	事業所の特性から、運営推進会議に地域住民の参加を呼びかけ、協力関係を築くことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険証の更新や運営上で不明な点がある際に、ご相談させていただいております。主に、ご相談がメインとなっております。	市担当者が毎回運営推進会議に出席しているほか、管理者は電話だけでなく、要介護更新申請などで直接市窓口に出向き、情報交換をしている。事業所からは人員基準に関する相談をしたり、事故報告をするなど、何でも相談できる関係性が保たれている。生活保護受給利用者が半数以上入居しているので、市の担当者が定期的に来訪しており、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会や研修の実施により、職員一同正しく理解し、身体拘束を行わないケアに努めています。	身体拘束を行わないことを契約書に明記するとともに、入居時に利用者や家族等に説明している。月1回の全体会議で話し合ったり、年1回身体拘束に関する内部研修を行っており、参加者はレポートを提出しているほか、参加できなかった職員には研修資料で周知し、日頃から管理者や職員は、身体拘束をしないケアに努めている。やむを得ず身体拘束を行う場合には、「同意書」や「経過観察記録」、「再検討記録」等の書類を整備し、家族等に連絡して同意を得てから実施している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や勉強会の実施により、あつてはならない虐待の防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について研修を通して、今後学ぶ機会を取り入れたい。今後、利用する方が出てくる可能性がある為、学んでいきます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	納得される様十分な説明をさせて頂き、ご理解いただいた上で署名・捺印を頂いています。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に外部の苦情受付機関に市役所の介護保険課や国保連合会がある事を記載して、契約を行う際にお話させて頂いています。利用者様及びご家族様より、ご意見を頂戴した際は、速やかに改善や意見反映に努めております。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記して、契約時に家族等に説明している。 日々のふれ合いの中で、家族等からは来訪時や電話などで意見や要望を聴くように努めているが、日々の様子を知らせる事業所便りを発行したり、家族等から率直な意見や要望を汲みあげるまでには至っていない。	家族等に利用者の近況や行事予定を知らせるため、事業所便りを配布したり、率直な意見等を汲みあげるよう、無記名の家族アンケートを実施することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各ユニットの会議や全体会議等で意見交換が行われ、その結果をホーム長会議を通して本部職員・代表者に伝える事が出来る。	管理者は月1回の全体会議や日々の業務の中で、職員の意見等を聞くように努めている。 職員からの意見を受けて、風呂場を季節の花で飾ったり、花の入浴剤を利用して入浴を楽しんでもらう、「入浴ウィーク」を企画しているほか、虐待に関する職員アンケートを実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者・本部職員と事業所のホーム長・管理者が定期的に話し合いの機会があり、職員の勤務状況や個々の相談を伺い、働きやすい環境になるように努めております。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の段階に合わせた研修受講を勧めるだけではなく、数回に分けて全職員が同じ研修を受講するように法人内で計画し実施している。毎月一回は研修を実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホーム協議会に加盟している為、年に何回が研修があり、同業者との交流を図り、情報を共有しております。近隣の事業所の運営推進会に参加させていただいております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前調査等により、ご本人の要望等を傾聴を行い、不安を取り除き、安心して過ごせる関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様からも要望等の傾聴を行い、安心出来る生活が過ごせますよう職員一丸となり取り組んでいる。入居前に、ご本人様の状態を把握しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームでの生活が可能か否か検討し、他のサービスが適していると見極めた時は関係機関・ご家族様と相談させて頂いています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	今何が必要なのかを職員が気づき、力になれる事で一緒に生活を共にする家族のような関係になれるように努めています。 入居者様一人一人が不安にならない様に努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行動の変化を伝達し、ご家族様に現状の理解をして頂き、意見の交換を蜜に行うことで、確かな交流が得られる様に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	慣れ親しんだ人との交流はとても意味深い事なので、ご家族様に働きかけ面会に来て頂くよう努めている。 ご本人様が行きたい場所へドライブや散歩をしております。	入居時の聴き取りや利用者との日々の会話などから、利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するよう努めている。 利用者の友人や親戚が来訪した際には、居室にてお茶を出し、居心地よく過ごせるよう配慮している。 馴染みの理美容室や店での買い物、外食、墓参りなどに家族等の協力を得ながら支援し、これまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	歌やゲームを通し、孤立する事の無い様努めています。気の合う仲間との会話の架け橋となれるよう心掛ける。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	事業所からご家族様に連絡を取る事はありませんが、相談等を受けた際には、状況に合わせた支援をしていきたいと思っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限り要望に応じられる様努めています。『その人らしく』を大切に接しています。	職員はアセスメント表や日々の関わりの中で、利用者の希望や思いを把握するとともに、把握した思いは「申し送りノート」や「個人記録」に記載し、職員は毎日の出勤時やカンファレンス、ユニット会議など話しあって共有している。 意思疎通の困難な利用者の場合は、家族等に相談したり、表情や仕草などで思いの把握に努め、利用者本位の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査の際、本人・ご家族様より得た情報を理解し、サービス提供の一環としております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方に合った支援の提供を心掛けています。目に見えて変化が表出たりしますが、心からの言葉を掛けをし、明るい生活が出来る支援をしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様が安心して過ごせただけの様にケアについて毎月、ケアカンファレンスを実施しております。職員間で、入居者の心身の状態や生活状況を把握し、ケアを検討し実施しております。現状に応じたモニタリングを行い、介護計画を立てております。	介護計画は利用者や家族等の意向を取り入れるとともに、医師の意見を取り入れて管理者や職員で話し合い、計画作成担当者が作成し、家族等の来訪時に周知している。 モニタリングと短期目標は3ヶ月毎、長期目標は6ヶ月毎に設定し、基本的に3ヶ月毎に見直しをして家族等に確認を得ている。 利用者の心身の状態等に変化が生じた場合は、随時モニタリングを行い、見直しをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録の記入により、日々の様子を職員間で共有できる。また、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	行動変化を察知し状況に応じたサービスの提供が行えるよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの活動受け入れにより、入居者様の豊かな生活が出来る様支援しています。散歩時にも、優しい声掛け等頂き、安全な生活が出来ます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の提携医療機関の訪問診療により、健康管理をしています。また、家族対応にてかかりつけ医の受診をする入居者もいます。受診の前夜にご家族様と情報交換を行い、記録しています。受診後も、ご家族様より報告を頂いております。	契約時に利用者や家族等に希望するかかりつけ医への受診が可能ことや、協力医療機関の医師をかかりつけ医にできることを説明し、確認を得ている。 かかりつけ医への受診は、家族等の付き添いを基本とし、都合が悪い場合には職員が同行しているほか、月2回協力医療機関の医師による訪問診療を支援している。 受診結果は家族等に電話や来訪時に報告するとともに、「受診結果報告書」に記載して全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと連携して情報交換を行う事で入居者様の健康管理に努めています。また、急変時に指示を仰ぐ事が出来る為、安心して過ごせます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際にはサマリーを作成し、医療機関へ報告しています。入院中も病院と連携し早期退院が出来る様にしている。また、退院後の注意点などの指導も受けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様へは、体調変化時は速やかに状況等を説明しており、病院と連携しながらご本人の希望に添えるように対応しております。終末期に関しては、ご本人様又はご家族様の希望確認しております。	重要事項説明書に重度化した場合や看取りに関する事業所の指針を明記し、契約時に利用者や家族等に説明をしている。 「重度化した場合の対応に係る指針」を作成し、事業所では看取り介護を行うとしているが、職員の内部研修を行うまでには至っていない。	利用者が重度化した場合に、家族等の希望にそえるよう、看取りに関する内部研修を実施することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応と致しまして、往診時に医師や看護師に指示を仰いでおります。突発的な、事故等にも対応できるように、勉強会の参加により俊敏な行動が出来る様努めたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼間・夜間を想定した避難訓練を毎月実施しています。また、月に2回、災害伝言ダイヤルの練習を行っています。	年2回避難訓練を実施するとともに、実施記録に訓練で明らかになった課題を記載し、次回の訓練に活かしている。 避難訓練に地域住民の参加を得たり、夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っていない。 災害に備えて米や飲料水、懐中電灯、ラジオ、おむつ類を備蓄してはいるが、食料品や3ユニット分としての備蓄量には至っていない。	夜間想定を含め、地域住民の参加を得た避難訓練となるよう、運営推進会議などで呼びかけることを提案する。 事業所は3ユニットあり、利用者も多いことから早急に食料品の備蓄と一覧表を作成して管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩として、敬う気持ちを大切にし、言葉遣いに十分に注意し、誇りやプライバシーを損ねないよう努めている。	職員は利用者の尊厳やプライバシーを大切にし、羞恥心や自尊心に配慮したケアや声かけを心がけている。 入居時に家族等に個人情報に関する説明と書面にて同意を得ている。 個人情報に関する書類は、事務室の鍵のかかる書棚に保管し、情報漏洩に注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思疎通が図れる入居者様は、自己決定していただくように支援していますが、自己決定が難しい、入居者様は、表情を見ながら対応しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	急を要する場合はお話をさせて頂き、優先順位の元にその入居者様に合った支援の実施をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の整容時に声掛けをし、身だしなみの整える支援をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と職員と一緒に同じ食事を摂ることで会話を楽しみながら食事の時間を過ごせる。また、出来る入居者様には準備や後片付けをお願いする事もあります。	利用者の嗜好を把握し、苦手な食材の場合には代替え食を用意して食事を楽しめるように献立を立てている。 おせちやクリスマス会などの行事食のほか、家族等の協力を得て外食を楽しんでいる。 利用者は出来る範囲でテーブル拭きや食器拭き、下膳などの役割を担っている。 職員は食べこぼしや嚥下に注意しながら利用者と同じテーブルで食事を摂っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	委託業者より栄養バランス考慮した献立が届きます。また、水分摂取量を測るように主治医より指示が出ている入居者様に関しては、個別に水分摂取表を記入しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っています。入居者様の口腔内の状況や力量に合わせ、必要に応じた介助を行っています。口腔ケアについての勉強会を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者一人ずつ排泄チェック表を利用し、入居者様の排泄パターン把握し、トイレ誘導しトイレでの排泄が出来る様にしております。入居時、紙パンツ、パットを使用していた方が、布パンツ等に改善する様に努めております。	職員は排泄チェック表を活用し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の仕草やサインから察知してさりげなく声かけ誘導し、できるだけトイレで排泄ができるよう支援している。 おむつからリハビリパンツやパッドに移行した利用者もいる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な水分量の摂取を促し、軽い運動の誘いを心掛け、必要な場合は腹部マッサージを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	さっぱりとした気持ちの良い事と思って頂く様、入浴前の声掛けを工夫しています。本人希望で、毎日入浴されている方がいる。個人に合わせた入浴を実施しております。	入浴は週2回を基本としているが、利用者の希望によっては時間帯を変えることも可能となっている。入浴を拒む利用者には無理強いせず、職員や時間帯を変えたり、清拭や足浴で対応するなど、工夫している。 菖蒲湯や柚子湯のほか、その時々の花や入浴剤を利用して季節感を味わってもらう週間を企画し、実施に向けて準備中である。 身体的に入浴が困難な利用者のために、特浴を設置している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入浴は、基本は二日に一回入っていただくようにしておりますが、入居者様のご希望で毎日、入浴出来る様にしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者一人ずつお薬表を作成しファイルしており、職員がいつでも、薬の目的、副作用を見る事ができます。又、入居者の体調に応じて、主治医に連絡し、処方していただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	グループホームらしく、入居者がご自宅で過ごされているように、台所などのお手伝いをさせていただいたり、歌、体操のレクリエーションや他フロアと交流する事で、気分転換をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お正月の初詣、3月お花見、5月ドライブなど四季を感じていただくように、お天気の良い日を選んで、ドライブに出かけております。又、日常においても事業所周辺の散歩に行く等支援しております。他事業所との交流目的で、外出する事もある。定期的実施予定。	毎日近隣の潤沼川沿いを散歩し、地域住民に挨拶を交すほか、年間行事計画を立てて、初詣や近隣公園への花見、大洗海岸、ひぬま自然公園へのドライブなど、リフト車で車いす利用者も一緒に外出している。 職員にキャラバンメイトがいる関係で、ボランティアの協力が得られている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にお金を入居者が管理する事はありませんが、手元にお金が無い事で不安になられる入居者様に対しては、ご家族様の了解を得て所持される場合もあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る限り希望に応える様に努めています。ご家族様との関係性もある為、日にちを決めさせて電話を掛ける場合もあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広く、清潔に保たれており、大きな窓から陽光はカーテンで調節し、居心地よい場所となっている。居間には、腰掛けられる高さで作られた畳み敷きの空間があり、利用者様が洗濯物を畳んだり、くつろげる場所になっています。	1階ユニット入口には、利用者と職員で制作した季節に合わせた大きな壁画作品やジグソーパズルを掲示してあるほか、利用者が作品展に出展した手作り作品を展示している。 各ユニットの居間兼食堂の一角には小上がりの和室があり、ちゃぶ台を置いて利用者が思い思いに寛げる空間となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に行動して頂き、入居者様と会話も出来る様に席の移動もしております。楽しい話題提供もしています。	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用していた物やご家族様に写真など思い出のある物をお持ち頂き、今までと同じような環境で生活して頂けるようにご家族様にお話をしています。居室には、クローゼット、タンス、ベッド、エアコンが設置されている。			居室にはカーテンやエアコン、洗面台、整理箆、ベッド、クローゼット、寝具が備え付けられている。 管理者は使い慣れた物品を持参して貰えるよう説明しており、利用者は家族等と相談しながら使い慣れた寝具類やテレビ、目覚まし時計、家族の写真、手作り作品などを持ち込み、自分らしく設えて居心地よく暮らせるよう工夫している。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様自身の出来る事・分かる事を把握し見守りを行い、安全で安心した生活が送れるように支援しています。			/

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに ○ 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームメロン

作成日 平成28年9月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	事業所の特性から、運営推進会議に地域住民の参加を呼びかけ、協力関係を築くことを期待する。	運営推進会議に、GHメロンオーナー含め、近隣の方に参加していただけるよう努める。	運営推進会議の年間予定表配布及び会議実施月に近隣の方に直接案内を渡す。	H28. 12
2	6	家族等に利用者の近況や行事予定を知らせるため、事業所便りを配布したり、率直な意見等を汲みあげるよう、無記名の家族アンケートを実施することを期待する。	無記名アンケート及び面会時や運営推進会議の際に、意見や要望等を確認する。	無記名アンケートや運営推進会議に参加していただけるように努める。	H29. 3
3	12	利用者が重度化した場合に、家族等の希望にそなえるよう、看取りに関する内部研修を実施することを期待する。	職員に対する、「看取り介護」の研修を実施する。	協力医療機関や訪問看護等と調整し、看取り介護の研修を行う。	H29. 3
4	13	夜間想定を含め、地域住民の参加を得た避難訓練となるよう、運営推進会議などで呼びかけることを提案する。事業所は3ユニットあり、利用者も多いことから早急に食料品の備蓄と一覧表を作成して管理することを期待する。	項目番号3同様に、運営推進会議の参加していただけるように努める。災害時用の、食料品や備蓄について、一覧表を作成する。	運営推進会議の開催月に案内文をお渡しする。災害用の一覧表作成及び災害用品の見直しを行います。	H28. 11

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。